

子どもに、「なぜ勉強するのか」と聞かれたら、「世の中をよくするため」と答えればいいのではない。世の中を良くする、というのは自分のおかれている環境を良くするということであり、自分やまわりの人達が生きやすく、平和で安全な環境にすることである。勉強するのは、いい大学に行くためでもなく、いい仕事につくのもなく、物事の本質を見極めて、自分の意見や考えをもち、なにに携わって生きていきたいかということ突き詰めるためである。また、生きていくためには、勉強が一番大切なのではなく、失敗や恐れに負けずに実行していく勇氣と、まわりや自分に対して冷静に判断するための理性が必要である。独りよがりで身勝手な行動に陥りがちな場面には特に理性が必要である。また、価値観の違う人や物事に対して、言葉や知識を使い、コミュニケーションをとれるようにする手段が勉強である。徹底的な話し合いやコミュニケーションを取れば、価値観の違いからくる障害も越えることができるのではないか。そのように、勉強するにしても、まず目的を決めてやると、効果や能力が倍増するのではないか。

#### □ 分科会

テーマ「自分らしく生きる」とは？

こどものために、親として教師としてできることは？

自己紹介のあと、グループ討議を行いました。

「自分らしく生きる」とは、まず、自分の考えをもつこと、言えること、自分で決められること、自分を好きになること、認めてもらうこと、相手やまわりの人達を受け入れる受け皿をつくること、、、など意見が出ました。

「親として教師としてできること」については、自分らしさということばに逃げて身勝手になっていないか注意が必要、違う価値観や考えを上手に相手に伝える技術の習得や訓練が必要、また受け入れる心の広さをもたせることも必要、、、など意見が出ました。

会に参加して一普段から疑問に思っていたテーマを取り上げて下さっていたので有意義なものとなりました。ありがとうございました。